

3 班		部会報告書				
提案NO	担い手が少なくなってきた時代に対応し、自治会などの活動を見直し、開かれた運営を行っていこう				R 4 検討	○
提案 1 4					R 5 検討	○
提案NO	「やらなければならない」地域活動から「やりたい人がやりたいことをやる」地域活動へ変えていこう				R 4 検討	—
提案 1 5					R 5 検討	○
担当委員	谷垣 均	田村 卓巳	渋谷 節子	仁張 衛		
第 4 回	令和6年2月19日（月）	9:30～12:00				
取組の方向性（テーマ）						
防災をはじめとした地域の安心安全を守る取組みの実施						
グループワークより出てきたアイディア						
・自治会活動は住民の安心安全を守るような「やらなければならないこと」と懇親を目的とした「やりたいこと」の2つがある。						
・安心安全の観点だと、防災の取組は子どもや高齢者の見守りにつながるため、効果的だと考える。また、福知山市は防災意識が高く、先進的な取組もしているため、モデル自治会をつくって全国的なPRもできるかもしれない。						
・懇親を目的とした活動として、お祭りなどがあるが、小さくても良いから年に1回実施している地域は、住民同士で顔を合わせる機会になっており、どんな人が住んでいるかも分かり、コミュニティとしても強くなっている。						
・顔の見える関係性を作ることが大事。						
・外の人が集まってできた比較的新しい地域で、伝統的な福知山踊りが定着しており、地域で3代に渡って連を出すなど、文化的な活動が学区活動の根幹になっている地域もある。						
・1学区1物語のような地域の歴史や昔話をまとめる活動があると、地域のことを知ることにつながり、歴史を大事にした防災活動にもつながっていくのではないかな。						
・自治会は、防災や見守り等の生活に関わる様々なことを担っているが、普通に生活していると実感する機会が少ない。そのような実感を持ってもらう場を作ることが重要だと思う。						
・複数の自治会が協力して防災の取組を実施するなど、自治会同士の連携で機能維持も考えられる。						

## 取組の方向性（取組の内容）

### 取組の概要

- ①自治会がどんなことをしているのか、加入のメリットを記したチラシを作る。
- ②防災など安心安全な暮らしの役割を果たす取組を中心に実施する取組を見直す。
- ③複数の自治会で協力して地域のお祭りなどを合同で実施する。
- ④美化活動の実施後に、懇親の機会など楽しみを共有できる場を作るなど  
気軽に参加でき、話ができる機会を作る（サロンや道端でコーヒーを飲む等）。
- ⑤福知山市内で先進的な取組をしている自治会をテーマや世帯ごとにまとめた  
冊子を行政と一緒に作り、他の自治会運営の参考にできるようにする。  
例：広報誌として自治会に配布、新聞やメディア等の民間との連携も実施する。
- ⑥地域の学生等が活動できる受け皿を作り、発信する。